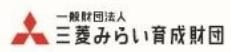


一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2025年11月16日（日）12:00-16:30



会場：東京都立日比谷高等学校

参加校：9校（日比谷、都立西、三田、湘南、柏陽、県立千葉、船橋、浦和一女、県立浦和）

参加者：生徒55名、教員18名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、東京大学、日本女子大学

昨年に引き続き対面での開催となった首都圏公立高等学校即興型英語ディベート交流大会。会場の東京都立日比谷高等学校に首都圏から9つの高校が一堂に会しました。開会式では、東京都立日比谷高等学校の萩原校長先生より、「この首都圏交流大会も12回目になりました。場所をうまく活用しながら切磋琢磨して頑張ってください。」とご挨拶いただきました。また、千葉県立千葉高等学校の高梨校長先生より、「9校でディベートを通して是非その後に繋がる交流としてください。」とご挨拶をいただきました。続いて、神奈川県立湘南高等学校の田中校長先生より、「相手の主張を聞き入れ、反論することを即興でやるのは難しく、緊張するかと思いますが、相手をリスペクトし、交流も楽しんでください。」とエールをいただきました。その後、参加校の紹介、ルールの確認などが行われました。特に、POI（Point of Information）は、相手のスピーチに対して繰り返しを要求したり、反論の布石となる質問をしたりすることができ、議論を深めるために重要であるため、POIのポーズを全員で練習しました。



日比谷・萩原校長先生ご挨拶



千葉・高梨校長先生ご挨拶



湘南・田中校長先生ご挨拶



千葉高校挨拶



POI の練習

1位から3位に送られる
トロフィー

第1ラウンドのお題は “**Children in elementary school or younger should be banned from owning and using smartphones.** (小学生以下の子どもによるスマートフォンの所持および使用を禁止すべきである。)” でした。子供の教育面について、学習の妨げになるのかむしろ学習の一助として使用可能なのかという論点についてスマートフォンの使用による危険性と危険を感じた際に回避する方法としての使用について比較するなど、白熱した議論となりました。また、POI (Point of Information : ディベート中の質疑応答) も活発に行われ、疑問に感じた点などがあればすかさず POI を通して確認したり、議論を深めたりしました。

ディベートが終わり、対戦チームと握手を交わしたあとは、普段の英語学習やディベートの練習などについて会話し、交流を深めました。英語での交流も活発に行われました。交流後はジャッジからのフィードバックの時間です。テーブルごとにジャッジから勝敗や個人フィードバックが伝えられました。PDA のディベートでは、個人フィードバックの際に一人一人によかった点と次に向けた改善点が1点ずつ伝えられます。生徒は次のラウンドに向けて少しでも多くのものを吸収しようとジャッジのコメントに真剣に耳を傾けました。



スピーチの様子（日比谷）



ジャッジコメントの様子
(浦和 VS 県船)



ジャッジコメントの様子
(三田 VS 柏陽)



Swing VS 都立西



試合後の握手

続く第2ラウンドのお題は、“**Japan should limit the number of foreign tourists.** (日本は外国人観光客の数を制限すべきである。)” でした。肯定側は文化や自然環境の保全や地域住民の生活環境、インフラのパンクなどを問題として説明し、否定側は日本経済に対する影響や国際関係についてなどについて説明しました。第2ラウンドでも引き続き、ジャッジの結果を待つ間に、近隣の美味しい食事処について尋ねるなど、交流を深めました。



ジェスチャーをしながらスピーチ
真剣にフローを取ります
(柏陽 VS 湘南)



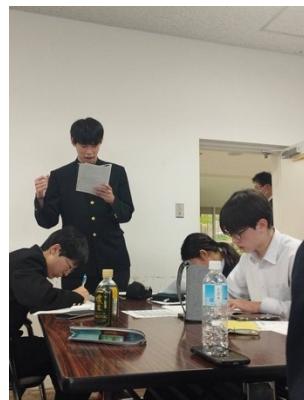
握手で検討を伝え合います
(浦和一女 VS Swing)



アイコンタクトを意識してスピーチ
(県船 VS 千葉)



試合後の握手 (都立西 VS 三田)



堂々とスピーチ
(県立浦和 VS 日比谷)



交流の様子



準備時間の様子



準備時間の様子

第2ラウンドを終えると、エキシビションディベートでディベートをする、「ジャッジが高く評価した代表生徒6名」が発表されました。自身や友人の名前がスクリーンに映し出されると喜びの拍手が送られました。エキシビションディベートの前に、AIディベートシステムの体験を行いました。本日行った2ラウンドの復習や、宿題を廃止すべき等の論題を用いて、AREAの形に従いながら立論を深めるロジックトレーニングモード、PMスピーチを行ってAIに反論をしてもらい、さらにMGとして反駁するディベートモードを体験しました。チームメンバーと相談しながら良い点数を取ろうとする様子や、点数を友人と見せ合いながらより良い点を目指したいと話す様子も見られました。



AI ディベートシステムの体験

そしていよいよエキシビションディベートが始まりました。論題は “**The Japanese government should promote the use of AI matchmaking services.** (日本政府は AI によるマッチングサービスの利用を推進すべきである。)” でした。肯定側は、少子化の抑止の手段として有効であることや、AI の精度が向上してきていることについて説明し、否定側は、相性だけでなく自身でより自分に合う人を追求することの良さや情報を流用されてしまう危険性について説明しました。POI も飛び交い、感情を込めたスピーチも見られ、白熱した議論となりましたが、ディベートを見学していた生徒・教員の举手投票により、否定側が勝利しました。見学していた生徒から代表して 2 名が勝敗の理由について説明してくれました。エキシビションに選ばれた生徒は、「チームメンバーとスムーズに準備に取り組むことができ、ベストが尽くせて良い経験でした。」とコメントしました。

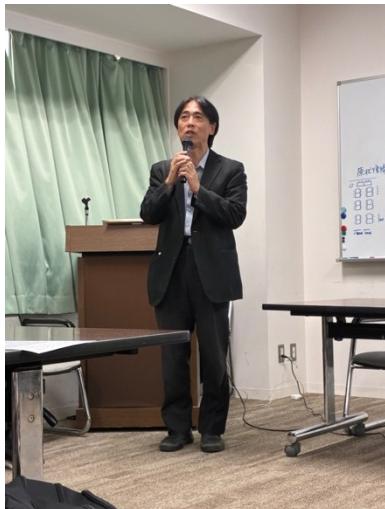


エキシビションでも積極的に POI に挑戦



試合後の握手

閉会式では、はじめに表彰式が行われ、校長先生から賞状を受け取り、今後の学習のモチベーションを上げました。次に、PDA ディベート推進委員長の大賀より、「年々英語力・ディベート力が向上していることを痛感して、全国の生徒に広めたい。相手の意見をしっかり聞き、咀嚼し、伝えることは重要なので、これからも頑張ってください。」とメッセージが送されました。続いて、千葉県立船橋高等学校の武富校長先生より、「論題に対して論理構成力、英語力を持って頭をフル回転して頑張る様子が見られました。学校、地域を超えて交流することは重要なので、この縁を大切にしてください。」と労いのお言葉が送されました。続いて、神奈川県立柏陽高等学校の會田校長先生より、「真剣に英語で語り合う高校生がたくさん見れてとても嬉しかったです。これからも頑張って立派な社会人になってください。」とメッセージが送されました。最後に、東京都立西高等学校の土方校長先生より、「コンフォートゾーンからラーニングゾーンに移行している皆さん様子に圧倒されました。これからのチャレンジにも期待しています。」とエールが送されました。



大賀推進委員長によるご講評



船橋・武富校長先生ご講評



柏陽・會田校長先生ご講評



都立西・土方校長先生ご講評



集合写真

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

- | | | |
|-------|----------------|---------|
| ・ PM | 埼玉県立浦和第一女子高等学校 | _____さん |
| ・ LO | 神奈川県立柏陽高等学校 | _____さん |
| ・ MG | 東京都立西高等学校 | _____さん |
| ・ MO | 千葉県立船橋高等学校 | _____さん |
| ・ LOR | 千葉県立千葉高等学校 | _____さん |
| ・ PMR | 東京都立三田高等学校 | _____さん |



エキシビションディベータ賞

〈チーム賞〉

- | | |
|----|----------------|
| 1位 | 神奈川県立柏陽高等学校 |
| 2位 | 千葉県立船橋高等学校 |
| 3位 | 埼玉県立浦和第一女子高等学校 |
| 4位 | 神奈川県立湘南高等学校 |
| 5位 | 東京都立三田高等学校 |



1位 柏陽高校



2位 船橋高校



3位 浦和一女高校

〈ベストディベータ賞〉

_____さん(県船)
_____さん(柏陽)
_____さん(柏陽)
_____さん(県船)
_____さん(県船)
_____さん(湘南)
_____さん(県立浦和)
_____さん(浦和一女)
_____さん(浦和一女)
_____さん(都立西)



〈ベストPOI賞〉

_____さん(県船)
_____さん(柏陽)
_____さん(三田)
_____さん(三田)
_____さん(県船)
_____さん(千葉)
_____さん(湘南)
_____さん(浦和一女)
_____さん(都立西)



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・普段は同じ学校の仲間としかディベートをすることができず、またフィードバックも大体同じ人からしかもらうこときができないので、ディベートだけでなくジャッジの方からのフィードバックも含めて新しい視点や意見を沢山得ることができてとてもよい経験になりました。(浦和一女)
- ・とても楽しかったですし、来年は是非もっと上位が取れるように頑張りたいです！(三田)
- ・めっちゃ刺激的すぎた。(船橋)
- ・フィードバックでアドバイスをいただけてとても参考になりました。また、他の高校の考えを知ることができて刺激になりました。(浦和一女)
- ・他県の高校の生徒との関わりがあまりないので、新鮮で楽しかったです！！(浦和一女)
- ・どのディベートも盛り上がりっていて最後のディベートもすごいなと思い、いい刺激となりました。(浦和一女)
- ・他県の学校と試合をする機会はなかなかないのでとても新鮮だった。自分たちに足りない点通用する点が明確になったので今後の練習に活かしたい。(県立浦和)
- ・他校と交流でき、久しぶりにディベートをし、とても楽しかったです。去年会った人と再会したり、自校のOBの人に話を聞くことができて良かったです。(日比谷)
- ・ディベートが上手な方の発表を聞いたり、ジャッジの方の話を聞いたりして、とても勉強になりました。(千葉)
- ・ディベートの聞き取りもすることができて、もっとイントネーションをつけるなどディベートでのスキルを新しく学ぶことができた。(浦和一女)
- ・改善点を知ることができたのでこれからの練習に活かしたいです。(千葉)

- ・他校の方から、話し方などで学びを得られた。(浦和)
 - ・悔しい思いもしましたが、様々な方のディベートが聞けて学びになることが多かったという点においてはとても有意義な時間だったと思います。(柏陽)
 - ・英語ディベートの練習や大会を通じて物事を論理的に考える力が育まれたと思います。2週間前に始めたPDAですが、続けていきたいと考えています。(日比谷)
 - ・一つの部屋でやることで他の学校の生徒さんたちとの交流も増え、より考えを広げることができたことが良かったと思う。(浦和一女)
 - ・とても楽しむことができました!来年は受験生なので、ディベートを引退することになりますが、残り少ない期間、ディベートをまだまだエンジョイしたいです。(三田)
 - ・ジャッジの先生、他校の人全員が今まで会った人よりもレベルが高く、見ることも楽しかった(柏陽)
 - ・AIディベートは隙間時間や、部活内で行いたいと思いました。(浦和一女)
 - ・自分はディベート経験が浅く、まだ分からぬことも多いのですが、皆さんのディベートを見学して論の組み立て方や対応力を改めて学ぶことができ、とてもいい経験をすることができました。(県立船橋)
 - ・自分の意見をまとめたり反論したりする力に限界があることを知ることができた一方、英語を流暢に、変にシステムチックに話さないようにできればこんなに柔軟に、人々に訴えかけられる意見にできるのだと、ディベート(というかもはや演説?)の底力を知ることができた。(都立西)
 - ・ジャッジの方々の客観的な視点からのコメントを頂けて良い機会になりました。(日比谷)
 - ・AIディベートシステムについては、個人的な練習として利用したいと思いました。人によって、ディベートでどのように戦うかが違うんだなと感じました。シンプルに論の強さで勝負する人や、掴みで勝負する人もいて、すごいなと思いました。(浦和一女)
 - ・新しい体験をできて、とても楽しかったです。(都立西)
 - ・首都圏の色んな高校から集まっていて交流が広がってたのしかった。ディベートをもっと頑張りたいと思った。とても貴重な機会だったと思います。(日比谷)
 - ・今日の試合を通して自分や他のレベルを知り、他の高校との仲を深められた。今日の経験を活かしてこれから頑張りたい。(県立浦和)
 - ・エキシビションではテーマの難易度も上がって楽しくエンジョイできました。(都立西)
- ジャッジメントの先生のアドバイスがとても参考になりいい経験になった
- ディベートがとても強い人たちの試合を見てとても参考になりました
- ・普段味わうことが出来ないような刺激を味わえて楽しかったです。また、自分たちに実力がまだまだだなと感じたので、これからもっと一生懸命に練習をしていきたいと思いました(県立浦和)
 - ・他校のディベートを見ていい勉強になりました。楽しかったです。AIは家でも一人でディベートができるのでやりたいなと思いました。(浦和一女)
 - ・普段練習試合できないような相手ともできて楽しかったです。(柏陽)
 - ・他校と交流する機会はあまりないので、少しでも話すことができてとても有意義で楽しい時間を過ごせました。(湘南)
 - ・ジャッジの方から色々アドバイスをもらえてとても参考になりました(湘南)
 - ・ディベートを俯瞰的にみる練習ができてよかったです。(見学)
 - ・緊張感有る雰囲気と対戦しながらも楽しそうな出場者の皆さんのお姿が印象的でした!(見学)
 - ・ディベートには出なかつたけれど上手い人のディベートや講評を聞いて勉強になった。(見学)
 - ・毎年、生徒のレベルが上がっている事に驚いています。(教員)
 - ・生徒の良い交流の場になっていたため、非常に意義があると思いました。(教員)